

かわらばん

vol.
145

2022.11



発行元：広報委員会
発行責任者：広報委員長
鳥取赤十字病院
マスコットキャラクター
オリピー

医療安全の取り組みについて

医療安全推進室

厚生労働省では「患者の安全を守る」ことを中心とした総合的な医療安全対策を推進するための活動の一環として、毎年11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「医療安全推進週間」と定めています。

当院においても、院内における医療安全向上と患者様、利用者様への理解や認識を深めていただくことを目的とした推進活動を毎年行っています。

今年度の取り組みは…

1. 医療安全標語の募集

職員のほか、当院をご利用される患者さん・ご家族の皆様から広く募集します。

みなさんからの
標語待ってます



2. 安全ラウンドを実施します

入院中の患者さんと一緒に病院内をラウンドします。ラウンドでは病室のドアやベッド、廊下の手すりなど患者さんと職員が一緒にチェックをします。職員が普段の業務で見落としがちな周囲の環境を、改めて患者さんと確認することで新たな気付きを得ることができます。また、ラウンドの結果から問題点を各部署にフィードバックし、改善案を検討、そして実施していくことで、患者さんの安全を守る環境づくりを目指しています。このラウンドしている様子や結果・改善点は院内に掲示、ホームページに掲載する予定です。

以前患者・家族参加で
ラウンド実施した様子



3. 医療安全の日

11月25日は、当院の職員全員が、安心・安全な医療の提供に取り組む決意を新たにする日と定め、各職員で自身の取り組む内容を決めています。

指差し呼称
ヨシッ!



今年度の
標語です





鍋の季節、食べ物をおいしく食べるための運動

リハビリテーション課 田中 佑果

歳を重ねるとともにみられる「口に関する些細な衰え」は避けられない老化現象のひとつです。口の些細な衰えとして、「噛みにくい」「ムセることが多くなった」「喋りにくく滑舌が悪くなった」というようなことがみられます。この衰えをそのままにしておくと、口の機能や飲み込む機能の低下、それに伴い栄養不足や活動量の低下、さらには心や身体への影響や最終的には命に係わる大きな転機にまで進行する可能性があります。このような負の連鎖に繋がらないよう、日常生活の小さな変化に気付くことで早期に発見し、予防的な取りくみが必要になります。そこで今回は、予防と改善のための口や飲み込みの機能に関わる訓練を紹介させていただきます。

○舌押し付け訓練

舌を口の天井や左右の頬にできるだけ強く押し付けるシリコン素材のスプーン舌で押しつぶす、前に押す



○開口訓練

口をできるだけ力いっぱい開け、10秒保持
顎関節症や顎関節脱臼などがある場合は注意が必要



○おでこ抵抗・顎引き抵抗訓練

方法① 顎を軽く引き、額に手を当てて抵抗を加える。

おへそを覗き込むよう下を向こうとする

方法② 顎の下に親指を当てて固定し、抵抗するよう顎を引く



これらの訓練は、各10秒×5回を1セットとし、1日2～3回程度の実施が望ましいです。身体状態によって時間や回数を調節し、少し疲れる程度を目安として無理のない範囲で実施してみてください。おいしい食事、たのしい会話、生き生きとした生活を続けていけるよう、ぜひ取り組んでみてください。

登録医の紹介

たけうち耳鼻いんこう科(高草中校区)

〈所在地〉 鳥取市里仁54-8

◆バスでお越しの方 JR鳥取駅バスターミナルより「鹿野・布勢・吉岡温泉行」→「世紀団地」バス停より徒歩2～3分

◆タクシーでお越しの方 JR鳥取駅より約10分 JR湖山駅より約5分

〈TEL〉 0857-50-0311

〈FAX〉 0857-50-0611

〈院長〉 竹内 裕一 先生



〈休診日〉 木曜日、日曜、祝日

皆様のおかげで開院14年を迎えることが出来ました。当院では検査・画像等を使い、分かりやすい説明・診療を心掛けています。これからも耳鼻咽喉科ホームドクターとして地域医療に貢献できるよう努力していきます。スタッフ一同、ご来院をお待ちしております。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○		○	※1
15:00~18:00	○	○	○		○	※2

※1 9:00~12:00 ※2 14:00~16:00

